

平成29年度生駒市環境マネジメントシステム数値目標達成状況（市域における数値目標）

項目		基準年度	目標年度	目標数値	基準年度実績値	2017(平成29)年度 実績値	目標達成状況 (達成率)	備考	
温室効果ガス排出量 削減率 (単位:万t-CO ₂)		2006 (平成18)年度	2018 (平成30)年度	-14% =28.0	32.5	29.8 ※	60.0%		
			2030 (平成42)年度	-35% =21.1					
			2050 (平成62)年度	-70% =9.8					
エネルギー消費量 削減率 (単位:TJ)		2006 (平成18)年度	2018 (平成30)年度	-5% =7012.5	7381.6	6681.8 ※	189.6%		
			2030 (平成42)年度	-20% =5905.3					
再生可能エネルギーの普及 (単位:基)		2011 (平成23)年度	2018 (平成30)年度	普及率16.5% =4,650	1,350	3,200	56.1%	固定価格買取制度の単価引下げの影響で、年度ごとの増加基数の伸び率は、平成24年度をピークに低下傾向にある。しかしながら、設置者への補助金交付件数は毎年100件以上増加している。	
			2030 (平成42)年度	普及率30% =8,454					
太陽光発電によるエネルギー自給率 (単位:kw)		-	2030 (平成42)年度	15% =46,700	-	24,800	53.1%		
ごみ排出量	家庭系ごみ 排出量(1人1日当たり) (単位:g/人日)	2007 (平成19)年度	2018 (平成30)年度	-15% =570.0	673.2	553.1	116.4%	・家庭系ごみ排出量は、家庭系ごみ有料化導入(平成27年度)以降3年連続して目標値を達成した。 ・事業系ごみ排出量は事業系指定ごみ袋導入(平成24年度)で一時的な削減はみられたが、平成25年度以降は増加傾向にある。事業所数の増加や大型店舗の進出などの影響が考えられる。しかしながら、事業所の総床面積あたりのごみ排出量は前年度より3%減少した。	
	再資源化率 (単位:%)	2007 (平成19)年度	2018 (平成30)年度	30	16.8	23	47.0%		
	事業系ごみ 排出量(年間) (単位:t)	2007 (平成19)年度	2018 (平成30)年度	6,721	9,128	9,000	5.3%		
公共交通	鉄道利用者数 増加率 (単位:千人)	2007 (平成19)年度	2018 (平成30)年度	現状維持~+0.5% =19,306	19,210	18,949	-271.9%	近鉄奈良線、生駒線、宝山寺線の利用者は減少、近鉄けいはんな線の利用者は増加している。しかしながら、人口が減少に転じたことや高齢化が進んでいることから利用者は減少傾向にある。 ※市外の利用者が多い学研登美ヶ丘駅(けいはんな線)の利用者数は実績値に含めていない。	
	路線バス利用者数 増加率 (単位:千人)	2007 (平成19)年度	2018 (平成30)年度	+10% =5,586	5,078	5,172	18.5%	目標値設定後に、運行本数や路線数は縮小しているが、利用者数は基準年度を上回って推移している。	
	代替交通の新規路線 (単位:本)	2007 (平成19)年度	2018 (平成30)年度	コミュニティバスなどの代替交通の新規路線を複数ルート実現	1	6	○	6ルートの内訳 ・光陽台線 ・門前線 ・西畑線 ・有里線 ・北新町線 ・萩の台線	
竜田川の水質 (単位:mg/L)		2007 (平成19)年度	2018 (平成30)年度	観測地点ごとの年間平均でBOD(生物化学的酸素要求量)5mg/L以下	阪奈道路下				竜田川本流への生活排水の混入、降雨量が少ないことによる自然水量の減少などの理由から、4測定点とも目標値を達成できていない。
					16	7.7	75.5%		
					東生駒川合流前				
					10	6.7	66.0%		
					大宮橋下				
					9.8	5.4	91.7%		
市境									
8.0	5.4	86.7%							
環境活動 参加人数(計画開始年度からの累計) (単位:人)		2009(平成21)年度以降の累計	2018 (平成30)年度	117,000	-	108,045	92.3%		

※温室効果ガス排出量と、エネルギー消費量については、2016年度の実績(暫定値)です。